イージスふあん通信

2018年 11月号

「イージス・アショア」ミサイル基地への地域住民の不安を共有

01 なぜ陸上？　しかも山口と秋田？

防衛省「我が国全域を効率よく防護するために最適」

北朝鮮からグアム基地へ向かう弾道の真下が萩市と阿武町、ハワイ基地への真下が秋田市（下図）。東京防衛なら能登半島が最適です。攻撃を受けやすい陸上にミサイル基地を置くのは、アメリカと米軍基地を守るためで、盾となる山口県や日本は、むしろ攻撃されやすくなるのでは？

02 いのちの水は大丈夫？

防衛省「むつみ演習場と周辺の水文調査をします」

いざという時の暮らしの支えの井戸の水質と基幹産業の農業用水の量の確保は大丈夫？　広い面積をコンクリートで覆うミサイル基地で変わる水脈や、使ったあとの水が汚染されないのかを来年3月までに調べるのは無理でしょう？　阿武町宇生賀地区では全戸が調査を断りました。

03 レーダーの電磁波は安全？

防衛省「無線LANと同じ周波数帯。国の基準で安全」

弾道ミサイルが現れる水平線でなく上方を狙うというのは本当？　導入がきまったSSR新型レーダーの強さは軍事機密とか。現在イージス艦に標準装備のSPY-1の最大出力は4000～6000KW。無線ランの数億倍、電子レンジ換算で約１万台！心臓ペースメーカーへの影響もあります。

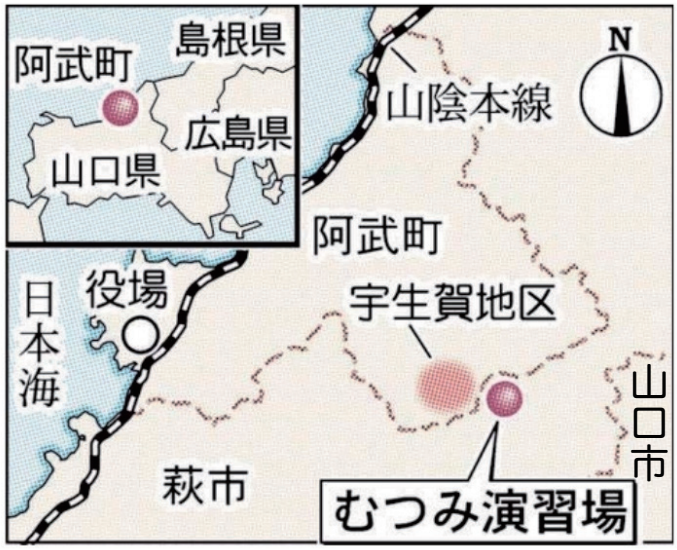
04 もしもミサイルが発射されたら……

防衛省「ミサイルの燃えがらは住民の上に落ちません」

発射されるミサイルの1段目（ブースター）の重さ200キロの燃えがらが落ちてきます。防衛省の説明は、海に落ちる、阿武町外に落ちる、演習場内に落とすなど、ころころ変わっています。発射の方向によって、基地の日本海側にだけ落ちるとは限りません。不安で不安で泣きたい気持ちです。

北朝鮮・山口・グアムは一直線（福留高明さん描く）

山口市阿東にも近い！　むつみ演習場（河北新報）



これは山口県民全体の問題　安倍さん答えて！

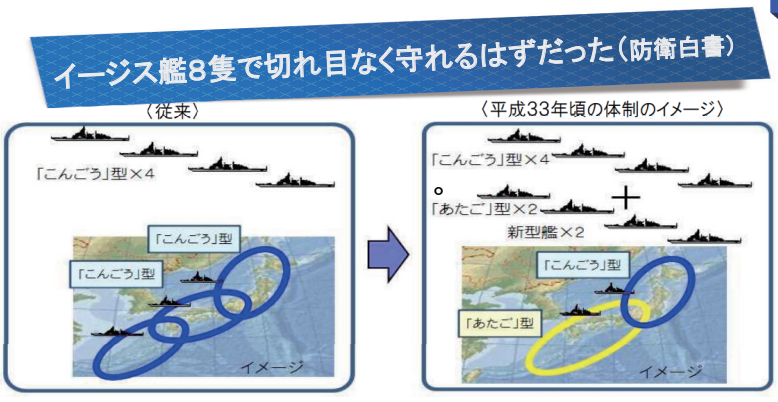
「イージス・アショア」レーダー＋ミサイル基地計画への私たちの？？？

政府が山口県の萩市むつみ地区・阿武町と秋田市に建設しようとしているイージス・アショア。ジオパークにも指定されたのどかな田園に暮らす私たち地域住民は防衛省による説明を聞けば聞くほど疑問と不安がつのっています。有事の被害は山口県全体に広がるのではないのか。私たちの疑問と不安にどうか正直にこたえて下さい。

05 アメリカの本音は攻撃基地？

防衛省：イージス・アショアは、弾道ミサイル攻撃に対して、国民の生命・財産を守る、純粋に防御的なシステムであり、北朝鮮を含め、周辺諸国に脅威を与えるものではありません（2018年7月19日、秋田市長への回答）。

イージス艦とも共通のミサイル垂直発射装置　Mk-41には、迎撃ミサイル以外に、トマホーク巡航ミサイルやアスロック対潜水艦ミサイルなどの攻撃用兵器が装填できます。ロシアは、東欧と日本での「イージス・アショア」建設を自国への脅威とみなし、日露外相会談でも懸念を表明しました（2018年3月11日）。5月には、安倍さんがよく講演に行くアメリカの有力な民間シンクタンク「戦略国際問題研究所（CSIS）」が、「太平洋の盾：巨大イージス艦としての日本」という論評を掲載しました。「イージス・アショアは、ハワイ・グアム等の戦略拠点を守るだけでなく、日本がトマホークなどの巡航ミサイルで北朝鮮のミサイル基地を攻撃できる潜在能力を獲得するものと期待される。安倍首相も他に手段がない場合は北朝鮮のミサイル基地に攻撃を加えても憲法との整合性に問題はないと言っている…」https://www.csis.org/analysis/shield-pacific-japan-giant-aegis-destroyer



イージス・アショアお見積（朝日新聞2018年7月31日など）

費目	単価	数量	億円
本体取得費（値引あり）	1340	2か所	2680
教育訓練費		1式	30
維持運用費		30年	1954
ミサイル（最新式）	40	48発	1920
総額（まだ増えます）			6584

06 全土を24時間365日防護？

防衛省：北朝鮮が日本を射程におさめる数百発の弾道ミサイルをもっているという現状を踏まえれば、イージス・アショアは速やかに配備する必要があり、この導入により、我が国全土を、24時間、365日、切れ目なく防護することが可能になります。

現行の「防衛計画の大綱」ではイージス艦を4隻から8隻に増やして「24時間365日」対応できるとあり、2018年7月には7隻目が進水しています（図）。これまでの計画や手続きを無視して2017年12月に導入を突然閣議決定。北朝鮮だけで数百発もある弾道ミサイルを、イージス艦に8発ずつと「イージス・アショア」に24発ずつの合計数十発しかない迎撃ミサイルでどうやって防げるのですか？　また、時間と場所があらかじめわかっている迎撃実験でさえ命中率が8割程度ということは、防ぎきれない密度での「飽和攻撃」を受ける有事には、新基地と岩国基地のある山口県にも多数着弾することになりませんか？

07 結局税金でいくら払うの？

防衛省：「対外有償軍事援助」と訳されるFMS（Foreign Military　Sales、米国政府が装備品・役務を販売する政府間取引）には、以下の欠点があります。輸入品に共通の弱点として、生産・技術基盤維持に資さず（維持・修理・補給に時間とコストがかかる）／雇用・所得効果なし／独自の改善不可能／必ずしも最新のものを導入できず、これに加えてFMSの契約価格及び履行期限はあくまで見積であり米国はこれに拘束されない（防衛省のHP）。

FMSを中心に後年度払いの借金は、5兆円を超えました。左の見積に敷地造成費や宿舎建設費などは含まれません。1発40億円もするミサイルを報道のように新たに48発購入すると1920億円の追加。飯島勲内閣官房参与は、2018年6月22日BSフジの番組で、「イージス・アショアは、トランプ米大統領に押し付けられて購入する状態だ」と述べました。私たちの税金で買わされる武器でアメリカを守り、対米貿易黒字を減らすという本当の目的を隠すために「丁寧な説明」を繰り返しておられるのですか？

発行：イージスふあんクラブ・山口

私たちは、山口県の中山間地でいのちをはぐくみ、平穏に暮らせる環境を守ることで、アジアの人びとの生命と財産を24時間365日守り抜くことをめざす山口県民です。

連絡先　〒753-0861 山口県山口市矢原1015番地
矢原市営住宅B-106　麻田 茂樹
電　話　080-5750-2590　FAX 083-923-0747
ブログ　http://huankurabu.soreccha.jp/
メール　huankurabu@gmail.com